

いのちの森文化財団の皆様 水輪ナチュラルファームの皆様

いつも新鮮なお野菜のご支援をありがとうございます。

雨降りが続いていて、毎日の畑仕事が大変なことと思います。被害はなかったでしょうか？お野菜も長雨で日照不足による生育などにも支障があるのではないのでしょうか？

震災後に南相馬市に来て、新しく農業を始められた当園の園児の保護者も、この不順な天候で大変苦労をされていらっしゃるようです。南相馬市では震災前から、農家の高齢化による離農がありました。特に震災後は、放射能汚染による休耕状態から農業を再開しない人もいます。その中であって、新しく南相馬市で農業を始められた保護者には、ぜひ頑張って長く続けていただきたいと思っております。

当地も一か月ぶりに夏の日差しが戻ってきました。毎日毎日雨が降って、大雨で被害が出るようなことはなかったのですが、肌寒さを感じるほどの日もありました。このまま秋になってしまうのかと思うほどでした。秋が近づいているような高い空に、日が差してちょっとほっとした一方で、やっぱり暑い！！と、涼しかった夏を過ごしてきた体には負担を感じてしまいます。切望していた大切な、太陽の日差しなのにそのようになればなっただ、わがままなつぶやきをしてしまう人間の愚かさを、反省します。

園庭に出た子どもたちは、先生がホースで散水する水先に集まって、ずぶ濡れになりながら歓声を上げてはしゃいでいます。遊具など何もなくても喜び、開放感を満喫する子どもたちですが、太陽と水と子どもの歓声が園庭中に響き渡るのが、やはり子どもが集う園の「夏の風物」ですね。大人も元気な子どもたちの姿を傍で見ているだけで、明るい気持ちになれます。



雨の合間、ミミズを見つけて……。1歳児

この頃は、雨降りになると集中豪雨になって甚大な被害がもたらされたり、落雷が頻発したり、何年か前までは外国のことと思っていた、竜巻発生ニュースなども、よく聞くようになってきました。昨今の自然現象は、本当に人間の限られた予想をはるかに超える、想定外なことばかりです。でも、これが自然なのだということを、改めて思わされます。

皆様のお仕事に、良い天候が与えられますよう、お祈りしております。感謝して。



2017年8月25日

原町聖愛こども園

今日は1歳児クラスで「ヤングコーン」の皮むきをしました。
1歳児では難しいかな、と思っていましたがみんな真剣にやっていました。折れてしまうことも多かったのですが、途中でやめてしまうこともなく何本も仕事をしてくれました。

